

市町村への指導事項（案）について

1 根拠について

厚生労働省健康局総務課長通知「健康診査管理指導等事業実施のための指針について」（平成 20 年 3 月 31 日）において、市町村が実施するがん検診を指導するため、生活習慣病検診等管理協議会を都道府県で設置・運営することとされたもの。

2 指導の方向性

厚生労働省健康局長通知別添「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」（令和 6 年一部改正）に基づく、がん検診の実施を行うように市町村へ指導する。

（1）検査項目

指針で推奨されていない項目を実施している市町村へ指導を行う。（各がん部会で認めたものを除く）

（2）受診勧奨等

一般的事項であるため、継続的に向上に努めるよう指導する。

（3）精検受診率等

目標値に達していない市町村がある場合に、指導する。

（4）チェックリスト実施率

全ての項目が適正ながん検診実施のために取り組むことが望ましいことから、実施率 100%に努めるように指導する。

3 重点指導事項

- ・精検受診率が許容値以下となっている市町村があるため、指導の記載を追加する。

市町村への指導事項（案）

令和 6 年度	前年度
<p>【現状】</p> <p>1 検診対象年齢及び検査項目について（令和 5 年度実施分）</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象年齢については、全ての市町村で指針どおり（20 歳以上、上限なし）となっている。 検査項目については、「問診」、「視診」、「子宮頸部の細胞診」、「内診」を全ての市町村で実施している。 「HPV 検査」を一部の対象者に実施している市町村は <u>2</u> 市町村、「経膈超音波検査」を実施している市町村が 27 市町村、「体部細胞診」を一部の対象者へ実施している市町村が 1 市町村となっている。 <p>2 業務委託機関について</p> <ul style="list-style-type: none"> 集団検診は <u>32</u> 市町村で実施しており、個別検診は <u>17</u> 市町村で実施している。 ※ 両方実施している市町村は <u>16</u> 市町村となっている。 	<p>【現状】</p> <p>1 検診対象年齢及び検査項目について（令和 5 年度実施分）</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象年齢については、全ての市町村で指針どおり（20 歳以上、上限なし）となっている。 検査項目については、「問診」、「視診」、「子宮頸部の細胞診」、「内診」を全ての市町村で実施している。 「HPV 検査」を一部の対象者に実施している市町村は <u>2</u> 市町村、「経膈超音波検査」を実施している市町村が 27 市町村、「体部細胞診」を一部の対象者へ実施している市町村が 1 市町村となっている。 <p>2 業務委託機関について</p> <ul style="list-style-type: none"> 集団検診は <u>32</u> 市町村で実施しており、個別検診は <u>16</u> 市町村で実施している。 ※ 両方実施している市町村は 15 市町村となっている。

令和 6 年度	前年度
<p>3 受診勧奨実施の有無と実施方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> 全ての市町村で受診勧奨を実施しており、通知、保健推進委員による戸別訪問、チラシ、広報誌、防災無線等により実施している。 <p>4 受診再勧奨実施の有無と実施方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> 受診再勧奨は、通知、チラシ、広報誌等により、<u>25</u>市町村が実施している。 <p>5 検診受診率について（令和5年度実施分）</p> <ul style="list-style-type: none"> 岩手県の令和5年度の受診率は <u>17.6%</u> で、全国平均（令和2年度）15.8%より高い。 年齢階級別にみると、20歳代が他の年代より低い。 <p>6 精検受診率について（令和4年度検診実施分）</p> <ul style="list-style-type: none"> 岩手県の精検受診率は <u>91.8%</u> で、目標値（90.0%以上）<u>及び</u>許容値（70.0%以上）に達しており、<u>全国平均（令和3年度）77.6%</u>より高い。 市町村別にみると、<u>28</u>市町村が許容値（70.0%以上）に達しており、うち <u>21</u>市町村が目標値に達している。 	<p>3 受診勧奨実施の有無と実施方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> 全ての市町村で受診勧奨を実施しており、通知、保健推進委員による戸別訪問、チラシ、広報誌、防災無線等により実施している。 <p>4 受診再勧奨実施の有無と実施方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> 受診再勧奨は、通知、チラシ、広報誌等により、<u>23</u>市町村が実施している。 <p>5 検診受診率について（令和4年度実施分）</p> <ul style="list-style-type: none"> 岩手県の令和4年度の受診率は <u>17.7%</u> で、全国平均（令和2年度）15.2%より高い。 年齢階級別にみると、20歳代が他の年代より低い。 <p>6 精検受診率について（令和3年度検診実施分）</p> <ul style="list-style-type: none"> 岩手県の精検受診率は <u>84.2%</u> で、目標値（90.0%以上）<u>に達していないが</u>、許容値（70.0%以上）に達しており、<u>全国平均（令和2年度）76.8%</u>より高い。 市町村別にみると、<u>27</u>市町村が許容値（70.0%以上）に達しており、うち <u>20</u>市町村が目標値に達している。

令和 6 年度	前年度
<p>7 精検未受診率について（令和 4 年度検診実施分）</p> <ul style="list-style-type: none"> 岩手県の未受診率は <u>3.1%</u> で、目標値（5.0%以下）に達しており、全国平均（令和 3 年度）<u>8.2%</u> より低い。（良い） 市町村別にみると、<u>29</u> 市町村が許容値に達しており、うち <u>27</u> 市町村が目標値に達している。 <p>8 精検未把握率について（令和 4 年度検診実施分）</p> <ul style="list-style-type: none"> 岩手県の未把握率は <u>5.1%</u> で、許容値（10.0%以下）に達しており、全国平均（令和 3 年度）<u>6.5%</u> より低い。（良い） 市町村別にみると、<u>25</u> 市町村が許容値に達しており、うち <u>19</u> 市町村が目標値に達している。 <p>9 要精検率について（令和 4 年度検診実施分）</p> <ul style="list-style-type: none"> 岩手県の要精検率は <u>2.0%</u> で、許容値（1.4%以下）に達しておらず、全国平均（令和 3 年度）<u>2.1%</u> と同等。 市町村別にみると、9 市町村が許容値に達している。 	<p>7 精検未受診率について（令和 3 年度検診実施分）</p> <ul style="list-style-type: none"> 岩手県の未受診率は <u>3.9%</u> で、目標値（5.0%以下）に達しており、全国平均（令和 2 年度）<u>5.8%</u> より低い。（良い） 市町村別にみると、<u>31</u> 市町村が許容値に達しており、うち <u>26</u> 市町村が目標値に達している。 <p>8 精検未把握率について（令和 3 年度検診実施分）</p> <ul style="list-style-type: none"> 岩手県の未把握率は許容値（10.0%以下）に達しておらず、全国平均（令和 2 年度）<u>17.6%</u> より低い。（良い） 市町村別にみると、<u>23</u> 市町村が許容値に達しており、うち <u>18</u> 市町村が目標値に達している。 <p>9 要精検率について（令和 3 年度検診実施分）</p> <ul style="list-style-type: none"> 岩手県の要精検率は <u>1.9%</u> で、許容値（1.4%以下）に達しておらず、全国平均（令和 2 年度）<u>2.2%</u> より低い。（良い） 市町村別にみると、12 市町村が許容値に達している。

令和 6 年度	前年度
<p>10 がん発見率について（令和 4 年度検診実施分）</p> <ul style="list-style-type: none"> 岩手県のがん発見率は 0.02% で、許容値（0.05% 以上）に達しておらず、全国平均（令和 3 年度）0.03% より低い。 市町村別にみると、<u>2</u> 市町村が許容値に達している。 29 市町村は、「子宮頸がんであった者」が 0 人であるため、がん発見率も 0 % となっている。 <p>11 陽性反応的中度について（令和 4 年度検診実施分）</p> <ul style="list-style-type: none"> 岩手県の陽性反応的中度は <u>0.9%</u> で、許容値（4.0% 以上）に達しておらず、全国平均（令和 3 年度）<u>1.3%</u> より低い。 市町村別にみると、<u>1</u> 市町村が許容値に達している。 30 市町村は、「子宮頸がんであった者」が 0 人であるため、陽性反応的中度も 0 % となっている。 <p>12 がん検診事業評価のためのチェックリストの実施状況調査結果（令和 6 年度実施分）</p> <ul style="list-style-type: none"> 岩手県の子宮頸がん検診のチェックリスト実施率について、集団検診では、<u>85.8%</u> であり、個別検診では、<u>85.9%</u> となっている。 	<p>10 がん発見率について（令和 3 年度検診実施分）</p> <ul style="list-style-type: none"> 岩手県のがん発見率は 0.01% で、許容値（0.05% 以上）に達しておらず、全国平均（令和 2 年度）0.03% より低い。 市町村別にみると、<u>2</u> 市町村が許容値に達している。 30 市町村は、「子宮頸がんであった者」が 0 人であるため、がん発見率も 0 % となっている。 <p>11 陽性反応的中度について（令和 3 年度検診実施分）</p> <ul style="list-style-type: none"> 岩手県の陽性反応的中度は <u>0.4%</u> で、許容値（4.0% 以上）に達しておらず、全国平均（令和 2 年度）<u>1.2%</u> より低い。 市町村別にみると、<u>2</u> 市町村が許容値に達している。 30 市町村は、「子宮頸がんであった者」が 0 人であるため、陽性反応的中度も 0 % となっている。 <p>12 がん検診事業評価のためのチェックリストの実施状況調査結果（令和 5 年度実施分）</p> <ul style="list-style-type: none"> 岩手県の子宮頸がん検診のチェックリスト実施率について、集団検診では、<u>84.2%</u> であり、個別検診では、<u>86.3%</u> となっている。

令和 6 年度	前年度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 集団検診、個別検診ともに実施率が高かった項目は、「地域保健・健康増進事業報告」、「精密検査結果の把握、精密検査未受診者の特定と受診勧奨」などであり、実施率が低かった項目は、「検診機関（医療機関）の質の担保」、「検診対象者の情報管理」などとなっている。 <p>【市町村への指導事項】</p> <p>（１） がん検診受診率（受診者数）の向上について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 岩手県がん対策推進計画等の目標である「がん検診受診率の向上（あらゆるがん検診実施主体を含めたがん検診受診率）」の達成に向けて、がん予防に関する公開講座やセミナーの開催、広報誌やホームページ等での周知など様々な手段を通じて一層の普及啓発に努められるようお願いいたします。 <p>なお、公開講座やセミナーの開催に当たり、講師の斡旋を希望する場合は、各がん部会<u>構成員</u>の紹介等により協力することができますので御検討ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 受診勧奨通知内容の見直し等においては、厚生労働省作成の「受診率向上施策ハンドブック」等を参考にする等、より効果的な勧奨方法についても検討をお願いいたします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 集団検診、個別検診ともに実施率が高かった項目は、「地域保健・健康増進事業報告」、「精密検査結果の把握、精密検査未受診者の特定と受診勧奨」などであり、実施率が低かった項目は、「検診機関（医療機関）の質の担保」、「検診対象者の情報管理」などとなっている。 <p>【市町村への指導事項】</p> <p>（１） がん検診受診率（受診者数）の向上について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 岩手県がん対策推進計画等の目標である「がん検診受診率の向上（あらゆるがん検診実施主体を含めたがん検診受診率）」の達成に向けて、がん予防に関する公開講座やセミナーの開催、広報誌やホームページ等での周知など様々な手段を通じて一層の普及啓発に努められるようお願いいたします。 <p>なお、公開講座やセミナーの開催に当たり、講師の斡旋を希望する場合は、各がん部会<u>構成員</u>の紹介等により協力することができますので御検討ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 受診勧奨通知内容の見直し等においては、厚生労働省作成の「受診率向上施策ハンドブック」等を参考にする等、より効果的な勧奨方法についても検討をお願いいたします。

令和 6 年度	前年度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 再勧奨を実施していない市町村は、実施に努めるようにしてください。また、再勧奨の実施時期については、有効的な時期を随時検討願います。 <p>(2) 精検受診率の向上について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 精検受診率向上のため、全ての未受診者に対して受診勧奨を実施するようお願いいたします。受診勧奨を行う際には、精密検査の重要性を十分に説明し、精密検査に関する正しい情報を提供して不安を取り除くなど、勧奨内容の充実に努められるとともに、ナッジ理論を参考に勧奨方法の工夫にも努めるようお願いいたします。 ・ 精検受診率の低い市町村においては、その要因を的確に把握し、対策に努めるようお願いいたします。特に許容値以下となっている市町村については、一層の対策をお願いいたします。 ・ 令和 3 年度と比較して精検受診率が低くなっている市町村は、改善に努めるようお願いいたします。 ・ 精検受診者の検査結果等を確実に確認し、未把握数の減少に努めるようお願いいたします。 <p>(3) 各がん検診事業評価のためのチェックリストの実施について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 再勧奨を実施していない市町村は、実施に努めるようにしてください。また、再勧奨の実施時期については、有効的な時期を随時検討願います。 <p>(2) 精検受診率の向上について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 精検受診率向上のため、全ての未受診者に対して受診勧奨を実施するようお願いいたします。受診勧奨を行う際には、精密検査の重要性を十分に説明し、精密検査に関する正しい情報を提供して不安を取り除くなど、勧奨内容の充実に努められるとともに、ナッジ理論を参考に勧奨方法の工夫にも努めるようお願いいたします。 ・ 精検受診率の低い市町村においては、その要因を的確に把握し、対策に努めるようお願いいたします。特に許容値以下となっている市町村については、一層の対策をお願いいたします。 ・ 令和 2 年度と比較して精検受診率が低くなっている市町村は、改善に努めるようお願いいたします。 ・ 精検受診者の検査結果等を確実に確認し、未把握数の減少に努めるようお願いいたします。 <p>(3) 各がん検診事業評価のためのチェックリストの実施について</p>

令和 6 年度	前年度
<ul style="list-style-type: none"> がん検診事業評価のためのチェックリストに掲げる項目については、何れも適正ながん検診実施のために取り組むことが望ましい項目であることから、実施率 100%を目指して、実施可能な項目から着実に取組を推進するようお願いいたします。 	<ul style="list-style-type: none"> がん検診事業評価のためのチェックリストに掲げる項目については、何れも適正ながん検診実施のために取り組むことが望ましい項目であることから、実施率 100%を目指して、実施可能な項目から着実に取組を推進するようお願いいたします。